

# 政務活動費成果届出書

届出者  沢田 清

○使途項目 (○をつける) 調査研究・**研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

ゼロカーボンについて

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

建設産業委員会において令和3年度の閉会中の調査テーマを定め調査、研究を行うこととした「ゼロカーボンシティを目指す第1歩～さらなるごみ減量に向けて～」について日本福祉大学特任教授 千頭聡氏を講師として勉強会を実施する。勉強会で得た知見を、半田市における有効性や今後の方向性(あり方)などの委員会での研究、協議に役立てたいとするもの。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

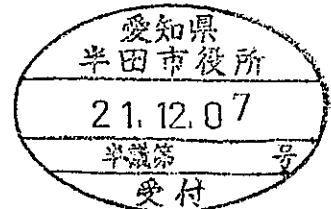
日本福祉大学の千頭聡特任教授を講師に迎えて、ゼロカーボンについて、ご講演をいただきました。目的達成

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

- ①ゼロカーボンを新たな地域ブランドに
  - ②行政による補助金に過度に依拠せず、民間事業者の力を最大限に生かす
  - ③半田が有する地域資源を最大限に生かす
  - ④新たな産業育成、イノベーションとしてのゼロカーボン化
  - ⑤強力なトップダウンによるぶれない戦略
  - ⑥市民・事業者の力を活かす
  - ⑦議会によるチェックと支援・推進
- エネルギーの地産地消に向けたエネルギーマネジメントシステムについては、半田市が特化して行える事業である。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

	議長	管理委員長
確認欄		



○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日に ち	時 間	内 容	金額 (円)	領収書 No.
12/2	10:00~ 11:45	閉会中の調査テーマ「ゼロ カーボンシティを目指す第 1歩~さらなるごみ減量に 向けて~」にかかる勉強会 (日本福祉大学特任教授千 頭聡氏に講義をいただくも の)	講師謝礼 25,000円	1
		25,000円を9人で按分 ※端数(7円)は、代表が 負担する。 ※講師謝礼は半田市の内規 を準用	25,000÷9  2,784	1

領収書等貼付用紙

議員名 沢田 清

タイトル

「ゼロカーボンシティについて」(講師:日本福祉大学特任教授 千頭聡氏)

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

領 収 書

金 25,000 円 也

但し、12月2日開催 半田市議会議員勉強会の  
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

令和3年12月2日

半田市議会議員

代表 沢田清 様 他 8名

千頭 聡

# 政務活動費成果届出書

届出者 山本半治

○使途項目 (○をつける) 調査研究・**研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

「ゼロカーボンシティについて」(講師: 日本福祉大学特任教授 千頭聡氏)

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

建設産業委員会において令和3年度の閉会中の調査テーマを定め調査、研究を行うこととした「ゼロカーボンシティを目指す第1歩～さらなるごみ減量に向けて～」について日本福祉大学特任教授 千頭聡氏を講師として勉強会を実施する。勉強会で得た知見を、半田市における有効性や今後の方向性(あり方)などの委員会での研究、協議に役立てたいとするもの。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

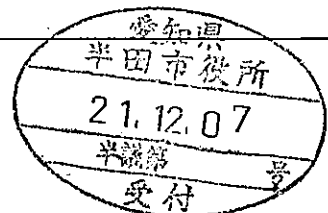
達成できた。  
・達成に向けては、制限をつけたり我慢を強いることはしない。  
・地域資源をどう生かすかを考える。  
・CO2の「見える化」を行う。

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

・全ての政策にゼロカーボンシティを据えた取り組みを行う。  
・地域資源をどう生かすか、専門家を交えた議論の場で検討する。  
・CO2の「見える化」(排出・削減)を具体的に示すことで、市民からの協力を得やすくする。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

	議長	管理委員長
確認欄		



○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時間	内容		金額 (円)	領収書 No.
12/2	10:00~ 11:45	閉会中の調査テーマ「ゼロカーボンシティを目指す第1歩～さらなるごみ減量に向けて～」にかかる勉強会 (日本福祉大学特任教授千頭聡氏に講義をいただくもの)	講師謝礼 25,000円		1
		25,000円を9人で按分 ※端数(7円)は、代表が負担する。 ※講師謝礼は半田市の内規を準用	25,000÷9	2,777	1

領収書等貼付用紙

議員名 山本 半治

タイトル

「ゼロカーボンシティについて」(講師:日本福祉大学特任教授 千頭聡氏)

1枚中 1枚目

※報告書における領収書No.が分かるように貼り付けること。

領 収 書

金 25,000 円 也

①

原本は  
沢田清議員  
に添付

但し、12月2日開催 半田市議会議員勉強会の  
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

令和3年12月2日

半田市議会議員  
代表 沢田清 様 他 8名

千頭 聡

# 政務活動費成果届出書

届出者 新美保博

○使途項目 (○をつける) 調査研究・研修・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

「ゼロカーボンシティについて」(講師: 日本福祉大学特任教授 千頭聡氏)

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

建設産業委員会において令和3年度の閉会中の調査テーマを定め調査、研究を行うこととした「ゼロカーボンシティを目指す第1歩～さらなるごみ減量に向けて～」について日本福祉大学特任教授 千頭聡氏を講師として勉強会を実施する。勉強会で得た知見を、半田市における有効性や今後の方向性(あり方)などの委員会での研究、協議に役立てたいとするもの。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

「ゼロカーボンシティについて」委員会との見解の相違があることが判ただけでも了

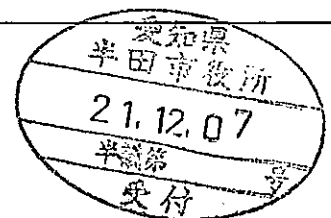
○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

絵を描き、見ただけではお腹は満たされないし、的を得ないまずい絵であるならば動かないことのほうがベター。  
さらなるごみ減量に向けて サブテーマを忘れずに

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

先生は先生なりの考えがあることは理解しました  
しかし、その考えが現実と合致しているのかと言えば、必ずしもかなと思います。  
見解の相違をどれだけ近づけるか、そして、結果を出さなければならないのも現実と考えます。まず、一人ひとりできることから。

確認欄	議長	管理委員長



○実績（別紙に領収書を添付すること）

日に ち	時 間	内 容		金額（円）	領収書 No.
12/2	10:00～ 11:45	閉会中の調査テーマ「ゼロ カーボンシティを目指す第 1歩～さらなるごみ減量に 向けて～」にかかる勉強会 （日本福祉大学特任教授千 頭聡氏に講義をいただくも の）	講師謝礼 25,000円		1
		25,000円を9人で按分 ※端数（7円）は、代表が 負担する。 ※講師謝礼は半田市の内規 を準用	25,000÷9	2,777	1



領収書等貼付用紙

議員名 新美 保博

タイトル

「ゼロカーボンシティについて」(講師:日本福祉大学特任教授 千頭聡氏)

1枚中 1枚目

※報告書における領収書No.が分かるように貼り付けること。

領 収 書

金 25,000 円 也

①

原本は  
沢田清 議員  
に添付

但し、12月2日開催 半田市議会議員勉強会の  
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

令和3年12月2日

半田市議会議員

代表 沢田清 様 他 8名

千頭 聡

# 政務活動費成果届出書

届出者 中川健一

○使途項目 (○をつける) 調査研究・研修・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

「ゼロカーボンシティについて」(講師：日本福祉大学特任教授 千頭聡氏)

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

建設産業委員会において令和3年度の閉会中の調査テーマを定め調査、研究を行うこととした「ゼロカーボンシティを目指す第1歩～さらなるごみ減量に向けて～」について日本福祉大学特任教授 千頭聡氏を講師として勉強会を実施する。勉強会で得た知見を、半田市における有効性や今後の方向性(あり方)などの委員会での研究、協議に役立てたいとするもの。

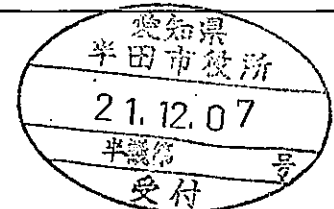
○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

予想と外れた。  
理由は恐らく千頭先生が半田市から委託業務を受けているため、半田市役所の仕事ぶりについて批判的な主張を述べることができないう構造的な問題があったからではないか。そのため、環境政策一般の当たり障りのない意見しか聞くことができなかつた。今、半田市が抱えている問題は提言自体の内容ではなく、なぜ提言が実行されていないかと言う半田市役所の組織文化に関わる根の深い問題である。

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

確認欄	議長	管理委員長



○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日に ち	時 間	内 容		金額 (円)	領収書 No.
12/2	10:00～ 11:45	閉会中の調査テーマ「ゼロ カーボンシティを目指す第 1歩～さらなるごみ減量に 向けて～」にかかる勉強会 (日本福祉大学特任教授千 頭聡氏に講義をいただくも の)	講師謝礼 25,000円		1
		25,000円を9人で按分 ※端数(7円)は、代表が 負担する。 ※講師謝礼は半田市の内規 を準用	25,000÷9	2,777	1

領収書等貼付用紙

議員名 中川 健一

タイトル

「ゼロカーボンシティについて」(講師:日本福祉大学特任教授 千頭聡氏)

1枚中 1枚目

※報告書における領収書No.が分かるように貼り付けること。

領 収 書

金 25,000 円 也

①

原本は  
沢田清議員  
に添付

但し、12月2日開催 半田市議会議員勉強会の  
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

令和3年12月2日

半田市議会議員

代表 沢田清 様 他 8名

千頭 聡

# 政務活動費成果届出書

届出者 水野尚美

○使途項目 (○をつける) 調査研究・**研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

「ゼロカーボンシティについて」(講師: 日本福祉大学特任教授 千頭聡氏)

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

建設産業委員会において令和3年度の閉会中の調査テーマを定め調査、研究を行うこととした「ゼロカーボンシティを目指す第1歩～さらなるごみ減量に向けて～」について日本福祉大学特任教授 千頭聡氏を講師として勉強会を実施する。勉強会で得た知見を、半田市における有効性や今後の方向性(あり方)などの委員会での研究、協議に役立てたいとするもの。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

- ・「どうせできるはずがない」から脱却するために、2050年のゼロカーボンシティのまちな姿をきちんと議論し、描くことが大切(専門家と市民の協働作業により、新しい暮らし方を模索、提案するなど)
- ・太陽光発電の設置は、耐用年数を考慮し撤去費用を積み立てるなどのアドバイスが必要。
- ・快適で健康リスクの少ない暮らしの実現を目指しビルダーを増やし支援することは大切。
- ・うちエコ診断を推進し(家庭、企業ともに)、自己発電&処理による一次エネルギー消費量の収支ゼロを目指す。

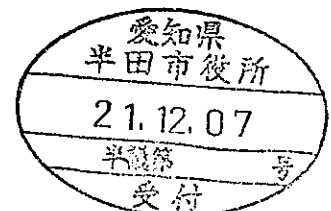
○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

- ・個人・家庭・事業所での努力や貢献が、見える化によって十分に評価される新たな取り組み(エコファミリー制度に変わるもの)を行う。
- ・2050年ゼロカーボンに向けてのロードマップを全庁で共有し、各課が取り組むことを宣言するなど、具体的及び積極的に行動する。(例: 学校給食の残食ゼロ。太陽光発電の自家消費型を推進)
- ・エネルギーの地産地消に向けたエネルギーマネジメントシステムを導入する。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

Blank box for additional remarks.

確認欄	議長	管理委員長



○実績（別紙に領収書を添付すること）

日にち	時間	内容		金額（円）	領収書 No.
12/2	10:00～ 11:45	閉会中の調査テーマ「ゼロ カーボンシティを目指す第 1歩～さらなるごみ減量に 向けて～」にかかる勉強会 （日本福祉大学特任教授千 頭聡氏に講義をいただくも の）	講師謝礼 25,000円		1
		25,000円を9人で按分 ※端数（7円）は、代表が 負担する。 ※講師謝礼は半田市の内規 を準用	25,000÷9	2,777	1

領収書等貼付用紙

議員名 水野 尚美

タイトル

「ゼロカーボンシティについて」(講師:日本福祉大学特任教授 千頭聡氏)

1枚中 1枚目

※報告書における領収書No.が分かるように貼り付けること。

領 収 書

①

金 25,000 円 也

原本は  
沢田清議員  
に添付

但し、12月2日開催 半田市議会議員勉強会の  
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

令和3年12月2日

半田市議会議員

代表 沢田清 様 他 8名

千頭 聡

令和3年12月7日

# 政務活動費成果届出書

届出者 竹内 功治

○使途項目 (○をつける) 調査研究・**研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

「ゼロカーボンシティについて」(講師：日本福祉大学特任教授 千頭聡氏)

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

建設産業委員会において令和3年度の閉会中の調査テーマを定め調査、研究を行うこととした「ゼロカーボンシティを目指す第1歩～さらなるごみ減量に向けて～」について日本福祉大学特任教授 千頭聡氏を講師として勉強会を実施する。勉強会で得た知見を、半田市における有効性や今後の方向性(あり方)などの委員会での研究、協議に役立てたいとするもの。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

下記のことを学び、目的は達成できた。  
・ヨーロッパを中心にゼロカーボンの考えは進んでいる。(世界の動向を把握すること)  
・ゼロカーボンシティは新たな産業になる。(住宅、エネルギー、車、ベンチャー等)  
・ZEH、ZEB(省エネ、再生可能エネルギー)の住宅や建物の普及が必要である。  
・ゼロカーボンを知多半島や半田市の地域ブランドにする。  
・知多半田駅周辺などを、スマート街区にすることを目指すべきである。  
・エネルギーを地産地消するエネルギーマネジメントシステムの考え。

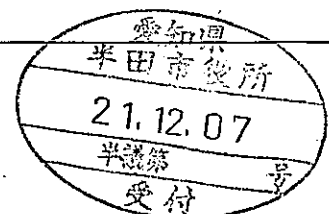
○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

・新たな住宅エリアではハウスメーカーと連携し、ZEHやZEBの住宅や建物の建築を進めること。(ZEHやZEBの住宅の建築を推進し、スマート街区も考えること)  
・ゼロカーボンを真剣に取り組むことで、地域ブランド化を目指すこと。  
・ゼロカーボンから新たな事業や産業を生み出すことを考えること。  
・行政の補助金に頼らずに出来る、民間事業者との仕組みや連携を考えること。  
・エネルギーマネジメントシステムは、環境課だけで対応できない。市全体のビジョンとしながら、新たな専門部署をつくることを考えること。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

・長野県飯田市では公共施設の屋根貸し(ソーラー等)を事業にしている。  
・ZEHやZEBの住宅の建築は、大和ハウスが進んでいるとのこと。

確認欄	議長	管理委員長





○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日に ち	時 間	内 容	金額 (円)	領収書 No.
12/2	10:00～ 11:45	閉会中の調査テーマ「ゼロ カーボンシティを目指す第 1歩～さらなるごみ減量に 向けて～」にかかる勉強会 (日本福祉大学特任教授千 頭聡氏に講義をいただくも の)	講師謝礼 25,000 円	1
		25,000 円を 9 人で按分 ※端数 (7 円) は、代表が 負担する。 ※講師謝礼は半田市の内規 を準用	25,000÷9  2,777	1

領収書等貼付用紙

議員名 竹内 功治

タイトル

「ゼロカーボンシティについて」(講師:日本福祉大学特任教授 千頭聡氏)

1枚中 1枚目

※報告書における領収書No.が分かるように貼り付けること。

領 収 書

金 25,000 円 也

但し、12月2日開催 半田市議会議員勉強会の  
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

令和3年12月2日

半田市議会議員

代表 沢田清 様 他 8名

千頭 聡

①  
原本は  
沢田清議員  
に添付

令和3年12月3日

# 政務活動費成果届出書

届出者 中村和也

○使途項目 (○をつける) 調査研究・**研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

「ゼロカーボンシティについて」(講師:日本福祉大学特任教授 千頭聡氏)

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

建設産業委員会において令和3年度の閉会中の調査テーマを定め調査、研究を行うこととした「ゼロカーボンシティを目指す第1歩～さらなるごみ減量に向けて～」について日本福祉大学特任教授 千頭聡氏を講師として勉強会を実施する。勉強会で得た知見を、半田市における有効性や今後の方向性(あり方)などの委員会での研究、協議に役立てたいとするもの。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

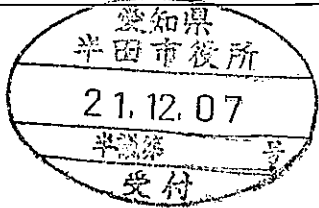
大変満足の内容でした。ゼロカーボンシティの達成に向けた現状の課題と世界の動向を分かりやすく説明いただきました。さらには、ゼロカーボンシティを達成していくにあたり、具体案も盛り込まれていて参考になりました。今後は、半田市の地域性を活かした、市民に分かりやすい方法論を提示するための議論を重ねていく必要性があります。

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

ゼロカーボンシティを達成していくにあたり、広く浸透してきたSDGsの目標・ターゲット・指標も参考にしながら分かりやすい取り組み策を市民に提示する必要があります。例えば、「エコドライブ10のすすめ」のような分かりやすい項目・チラシを作成。  
キーワードとなりえるのは、業界のトップランナーに基準をおいた推奨策。ZEHビルダーなどの環境配慮企業の登録制度を創設。さらには、革新的な技術をもったベンチャー企業の誘致による実証実験の受入れを進めること。ベンチャー企業の誘致による実証実験が多く行われれば、先進的な取り組みとなり得る。また、成功すれば経済振興にもつながると思います。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

基本的には緑(自然環境)を大切に街づくりが重要だと思います。人口当たりの緑化面積の基準があると思いますが、積極果敢に緑を増やす政策が必要だと思っています。



確認欄	議長	管理委員長

○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日に ち	時 間	内 容	金額 (円)	領収書 No.
12/2	10:00～ 11:45	閉会中の調査テーマ「ゼロ カーボンシティを目指す第 1歩～さらなるごみ減量に 向けて～」にかかる勉強会 (日本福祉大学特任教授千 頭聡氏に講義をいただくも の)	講師謝礼 25,000 円	1
		25,000 円を 9 人で按分 ※端数 (7 円) は、代表が 負担する。 ※講師謝礼は半田市の内規 を準用	25,000÷9  2,777	1

令和3年12月3日

領収書等貼付用紙

議員名 中村 和也

タイトル

「ゼロカーボンシティについて」(講師:日本福祉大学特任教授 千頭聡氏)

1枚中 1枚目

※報告書における領収書No.が分かるように貼り付けること。

領 収 書

金 25,000 円 也

①

原本は  
沢田清 議員  
に添付

但し、12月2日開催 半田市議会議員勉強会の  
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

令和3年12月2日

半田市議会議員

代表 沢田清 様 他 8名

千頭 聡

# 政務活動費成果届出書

届出者 芳金 秀展

○使途項目 (○をつける) 調査研究・**研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

「ゼロカーボンシティについて」(講師:日本福祉大学特任教授 千頭聡氏)

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

建設産業委員会において令和3年度の閉会中の調査テーマを定め調査、研究を行うこととした「ゼロカーボンシティを目指す第1歩～さらなるごみ減量に向けて～」について日本福祉大学特任教授 千頭聡氏を講師として勉強会を実施する。勉強会で得た知見を、半田市における有効性や今後の方向性(あり方)などの委員会での研究、協議に役立てたいとするもの。

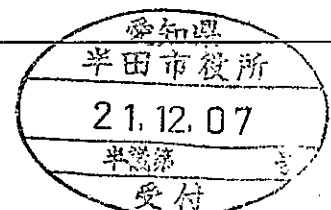
○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

半田市のゼロカーボンシティはんだビジョンは、まだ素案段階である為非常に有意義な会となりました。学んだ点は以下の点です。

- ・ゼロカーボンシティは新たな産業革命になりうる変化である。
- ・今まで行ってきた環境政策の市民の努力の延長線上にはゴールはない。
- ・制限と我慢から脱却し新たなライフスタイルの提案が必要。
- ・世界の動向を抑え、ガラパゴス化から脱却しないといけない。電気自動車など。
- ・2030は通過点としての重要なゴールでありバックキャストで計画する必要がある。2050年は2030年の延長線上にあるようにしなければならない。
- ・現在の地球温暖化防止行動計画は基礎自治体でデータの把握ができないものを評価基準にしているため具体策がない。
- ・世界の流れに対し日本は遅れている。気候変動の危機感など。
- ・COP26のテーマは、メタンガス、石炭火力発電、新車販売はゼロエミッション。
- ・半田市のビジョンは環境課だけではできない。全庁的な取り組みにする必要がある。
- ・補助金に頼らない考え方が必要。民間の利益に貢献する形での取り組みの推奨。
- ・半田市は、住宅政策に今後ゼロカーボンの考え方が必要。ZEH、ZEB。
- ・環境省の脱炭素先行地域への採択を目指す。
- ・ゼロカーボンにおける知多半島での広域的な連携体制をリードする必要がある。
- ・以下半田市への提案例。

- ① スマート街区、スマート移住、中小企業の ZEB。
- ② 水源資源との広域的な連携。木曾川流域の源流での電力開発など。
- ③ 畜産廃棄物、一般廃棄物、産業廃棄物のバイオマス発電。

確認欄	議長	管理委員長



- ④ PPA の活用、公共の屋根の貸し出し。
  - ⑤ 大規模事業所の支援。
  - ⑥ 先進的な各種社会実験の受け入れ、住宅政策の中に ZEH のハウスメーカーの先進技術を推奨する。
  - ⑦ エネルギーシステムマネジメント、自治体新電力。
  - ⑧ CO<sub>2</sub> の見える化。市民参加のカギ。
- 以上です。

○提 言 （半田市に対し、何をどう活用するか。）

- ①本勉強会の千頭先生の全ての提言を再度検討し、全庁的な取り組みとなるようプロジェクトチームを結成してください。
- ②2030の目標を見直し、具体的な実施計画に対し、アクションプランを各関係部署にしっかりと落とし込みをはかってください。
- ③徹底的な数字の見える化を図り、進捗を常に監視するシステムを考案してください。
- ④半田市だけでなく、知多半島広域での取り組みに昇華させ、エリアでのブランド価値を高めてください。

○その他 （その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。）

本プロジェクトは半田市のみならず知多半島の価値を高める可能性を秘めています。半田市は半田市のことだけでなくエリアを牽引する気概を持って進めていただきたいと思います。

	議長	管理委員長
確認欄		

○実績（別紙に領収書を添付すること）

日に ち	時 間	内 容	金額（円）	領収書 No.
12/2	10:00～ 11:45	閉会中の調査テーマ「ゼロ カーボンシティを目指す第 1歩～さらなるごみ減量に 向けて～」にかかる勉強会 （日本福祉大学特任教授千 頭聡氏に講義をいただくも の）	講師謝礼 25,000円	1
		25,000円を9人で按分 ※端数（7円）は、代表が 負担する。 ※講師謝礼は半田市の内規 を準用	25,000÷9  2,777	1



領収書等貼付用紙

議員名 芳金 秀展

タイトル

「ゼロカーボンシティについて」(講師:日本福祉大学特任教授 千頭聡氏)

1枚中 1枚目

※報告書における領収書No.が分かるように貼り付けること。

領 収 書

金 25,000 円 也

①

原本は  
沢田清議員  
に添付

但し、12月2日開催 半田市議会議員勉強会の  
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

令和3年12月2日

半田市議会議員

代表 沢田清 様 他 8名

千頭 聡

令和3年12月7日

### 政務活動費成果届出書

届出者 坂井 美穂

○使途項目 (○をつける) 調査研究・**研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

「ゼロカーボンシティについて」(講師：日本福祉大学特任教授 千頭聡氏)

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

建設産業委員会において令和3年度の閉会中の調査テーマを定め調査、研究を行うこととした「ゼロカーボンシティを目指す第1歩～さらなるごみ減量に向けて～」について日本福祉大学特任教授 千頭聡氏を講師として勉強会を実施する。勉強会で得た知見を、半田市における有効性や今後の方向性(あり方)などの委員会での研究、協議に役立てたいとするもの。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

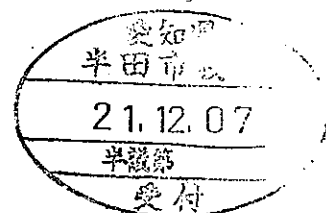
ゼロカーボンシティ宣言をしている半田市は畜産や農業による発電所設立により、ゼロカーボンを効率的に実現できる土地であることを再認識した。また、知多半島でゼロカーボンを目指すのがよいとのことで、ゼロカーボン半島を地域ブランドにするのはインパクトがあると感じた。やれる技術がたくさん存在していることが分かった。

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

ゼロカーボンを実現するための方法は建築、食品、鉄鋼、水産、畜産、地下水等々、様々な分野で存在するため、半田市で効率的に実現していくためには、庁内連携が大事である。たとえば、建設部が連携組織に入っていれば、ハウスメーカーへの土地売却の際に、ZEHを条件に入札をすることも可能だったのでないか。全ての部署が専門知識を生かしてゼロカーボンに取り組む必要がある。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

確認欄	議長	管理委員長



○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日に ち	時 間	内 容	金額 (円)	領収書 No.
12/2	10:00～ 11:45	閉会中の調査テーマ「ゼロ カーボンシティを目指す第 1歩～さらなるごみ減量に 向けて～」にかかる勉強会 (日本福祉大学特任教授千 頭聡氏に講義をいただくも の)	講師謝礼 25,000円	1
		25,000円を9人で按分 ※端数(7円)は、代表が 負担する。 ※講師謝礼は半田市の内規 を準用	25,000÷9  2,777	1

領収書等貼付用紙

議員名 坂井 美穂

タイトル

「ゼロカーボンシティについて」(講師:日本福祉大学特任教授 千頭聡氏)

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

領 収 書

金 25,000 円 也

①

原本は  
沢田清議員  
に添付

但し、12月2日開催 半田市議会議員勉強会の  
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

令和3年12月2日

半田市議会議員

代表 沢田清 様 他 8名

千頭 聡